

講 義 要 項

授業科目	社会福祉Ⅱ			担当者	山田 晋
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態	履修年次・前／後	
	1 単位	15 時間	講義	2年次・後期	
授 業 目 標					
社会福祉について認識を深め、社会資源を活用できる基礎的知識を身につけることができる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 社会福祉Ⅱで何を学ぶのか	社会福祉Ⅰで学んだ既習知識を想起し、各関連科目との関連について理解できる。	1. 社会福祉Ⅰの振り返り 1) 現代社会の変化 2) 社会の変化と社会福祉の動向	2		講義
2. 高齢者問題と福祉	高齢者に起きている問題点と福祉について理解できる。	1. 高齢者の状況 2. 高齢者福祉の施策 3. 在宅・施設福祉事業 4. 認知症高齢者対策 5. 高齢者虐待の対策	2		講義
3. 障がい者福祉	障がい者福祉の現状について理解できる。	1. 障がい者福祉 1) 障がいの国際機能分類 2) 障がい者福祉の基本理念 2. 身体障がい者福祉 3. 精神障がい者福祉	2		講義
4. 児童問題と福祉課題	現代社会で問題となっている児童問題の現状と課題、福祉について理解できる。	1. 児童の定義と現状 2. 育ちの環境としての家庭の現状 3. 児童にかかわる法と施策	2		講義
5. 若者・女性と福祉	社会と経済の変化から生じている若者・女性についての諸問題と社会福祉について理解する。	1. 現代の雇用問題 1) 失業率と雇用形態 2) フリーター・ニート 3) 非正規雇用の増加 4) 福祉の課題	2		講義
6. 少子化対策と子育て支援	少子化対策と子育て支援の現状について理解できる。	1. 少子化の課題と家族 2. 少子化対策から次世代育成支援 3. 子ども・子育て支援 4. 児童虐待対策 5. 子どもの人権と貧困対策	2		講義
7. ワークライフバランスと社会福祉実践と看護	看護職のワークライフバランスと社会福祉の関係について理解できる。	1. ワークライフバランスとは 2. 看護職の働き方 3. 育児と家庭の両立支援 4. 働き方改革	2		講義
修得試験			1	1	

参 考 文 献 等	<p>1. 系統看護学講座 専門基礎分野 社会福祉健康支援と社会保障制度(3), 社会保障, 医学書院.</p> <p>2. 参考文献 国民の福祉と介護の動向, 厚生労働統計協会.</p>
評 価	<p>1. 単位修得試験 50点、終講レポート 30点、毎回の受講感 20点</p>
備 考	<p>実務経験：社会福祉の豊富な実務経験をもとに授業を行う。 社会福祉Ⅰ同様、時事問題プラス高齢者、子ども、若者、ジェンダー、医療看護、健康に関する新聞記事を配布 コメントする課題がある。毎週提出厳守。</p>